

NEWSLETTER KAWAUSO

カワウソだより

特定非営利活動法人
「さとやまから」始動!

2024年1月15日、13名の有志が集結して、里山の維持・再生を目的としたNPO法人設立に向け、設立総会を開きました。そして様々な手続きを経て、同年5月30日に奈良県の認可を受け、6月に法人設立となりました。法人名は設立会員に募集した結果、特定非営利活動法人さとやまからに決定。

その名の通り、さとやまから世の中に貢献する活動に邁進してゆきます!

CONTENTS

特定非営利活動法人さとやまから 始動!	1P
第1回通常総会を開催(2025年3月8日)	2P
令和7年の活動予定	2P
里山の蕎麦花ツアーを実施(2024年9月21日)	3P
地元御所市で霜月祭に出店(2024年11月10日)	3P
お楽しみの収穫祭(2024年12月8日)	4P
年越し蕎麦のモニター販売実施(2024年12月30日)	4P
会員募集 編集後記	4P



第1回 初めての通常総会を開催

2025年 3月 8日

奈良県社会福祉総合センター

NPO法人としての初めての総会が、奈良県社会福祉総合センターで開催されました。12名の議決権を持つ正会員が出席し、議題の全てが承認されました。総会での理事長からの挨拶文をご紹介します。



皆さま、本日はご多忙の中、「NPO法人さとやまから 第1回通常総会」にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

私たちのNPO法人は、「御所の里山を守り育てる」という想いのもと、2003年来耕作放棄地を活用した農業に取り組まれている、杉浦農園の杉浦さんの活動の幅をさらに広げるために、約2年前に設立を目指したことから始まりました。

NPO法人の設立に際しては、複雑な手続きが必要であったり、同じ価値観を持ち賛同してくれる協力者を集めるなど、設立までは決して平坦な道のりではありませんでしたが、それらを乗り越え、2024年6月に発足いたしました。

ここに参加いただいている皆様方には、私たちの活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、杉浦さんが秋津穂の里で特別栽培米の酒米を育て始めて8年目となりました昨年、秋津穂の里に新たに油長酒造様の葛城山麓醸造所が開所いたしました。この醸造所では、里山、主に秋津穂の里で栽培された酒米のみで特別な風の森を醸します。里山に新しい産業が生まれたのです。これは杉浦さんの里山を思う気持ちが通じた結果だと思っています。

また、蕎麦の栽培も順調に進んでいます。御所の蕎麦は風味がとておも良いとの評判も頂き、今後の展開がますます楽しみです。

この一年を振り返ると、多くの方々のご協力があったからこそ、ここまで歩んでくることができました。皆さま一人ひとりの支えが、私たちの活動の大きな力となっています。

本日の総会では、これまでの活動を振り返りながら、今後の活動についても皆さまと共に考え、より良い未来を築いていきたいと思っております。どうか忌憚のないご意見をお聞かせください。

多くの人が「里山はほっとする場所」と感じるように、日本人共通の「ふるさと」の象徴であり、国のかたちをつくる大切な場所だと言えます。

御所のさとやまから、里山の大切さを発信し活動が続けてまいりますので、皆さまの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、私の理事長の任期は今月末で終了いたします。のちに報告がありますが、次期理事長には杉浦さんが就任することが決定しております。



Schedule

2025
令和7年度の
活動予定

- 4月……………さんろくフェスタ 蕎麦の実演販売
- 6～10月……………秋津穂の里 稲づくりイベント
- 7～9月……………里山の生物調査
- 8～11月……………蕎麦栽培
- 9月下旬……………蕎麦の花ツアー
- 11月……………霜月祭 蕎麦の実演販売
- 12月上旬……………蕎麦収穫祭
- 12月末……………年越しそば販売



里山の認知を広げよう！蕎麦花ツアーを実施

2024 年 9月21日

蕎麦花の風景は観光資源

「耕作されなくなった農地を蕎麦畑に」の掛け声の元、さとやまからでは御所市に小さな蕎麦産地を作る活動をしています。その名も「そばチャレンジ」。そして蕎麦を栽培し、製品を販売するだけでなく、この取り組みを広報して里山の認知に繋げるべく、9月下旬、蕎麦の花が満開となる時期に、蕎麦花モニターツアーを企画しました。真っ白な蕎

麦の花は、庄巻の里山の風景です。この観光資源をツアー化するためのモニター企画に、7名の方々がご参加されました。まず、奥山にある奈良時代の寺院跡への散策、蕎麦花を鑑賞して思い思いに写真を撮ったり、お食事は打ち立て蕎麦とお料理とお酒を楽しみました。

2025年は、この蕎麦花ツアーを本格実施予定です！



地元御所市で霜月祭に出店

2024 年 11月10日

蕎麦チャレンジメンバーを対象に



霜月祭は、御所市で開催されるもっとも大きなイベント行事です。酒販店さんの駐車場をお借りして、蕎麦の実演販売を行いました。蕎麦チームの士気は高く、運営スキルも大したもの。賑わうお客様を無難に対応し、200食を販売！

おかげさまで、御所蕎麦の評判はますます上々です。

そばチャレンジメンバー集合 お楽しみの収穫祭

2024年12月8日

ラミーダンファンアラメゾン

恒例の蕎麦の収穫祭を、五條市のフレンチレストラン ラミーダンファンアラメゾンで行いました。お蕎麦とフレンチとお酒、これが一番の楽しみです。

8月の種まき、10月の収穫、そして実演販売など、そばチャレンジのメンバーのみなさま今期もお疲れ様でした。



年越し蕎麦のモニター販売 実施

2024年12月30日

価格などアンケート 今後に生かします

会員募集中！

現在、正会員33名 賛助会員4名 団体会員1団体です。

お知らせにもお声がけいただき、さらなる会員募集にご協力ください！

正会員	年間3,000円
賛助会員	年間1,500円
学生会員	年間1,500円
団体会員	一口年間10,000円

Looking for

Apply

会員に応募するには

HP入会案内から
<https://satoyamakara.or.jp/nyukai/>



そばチャレンジメンバーを対象に、年越し生蕎麦のモニター販売をしました。配送後の状態、味、価格などアンケートをとり、今後の本格販売に生かしたいと思います。

チャレンジメンバーはみなさん、最高の年越しそばになったそうです。

編集後記

昨年は設立発起人として、不慣れな行政手続きに東奔西走する日々でした。設立メンバーの協力で、無事に法人設立できて安堵しています。ちなみに、会報の名称「カワウソだより」は、僕が学生時代、当時幻だったニホンカワウソを探していたことに関係しています。

自然が壊されて絶滅したニホンカワウソ（僕はそう思ってません）に学び、日本にとって大切な里山が失われないよう頑張りたいと思います。（す）

特定非営利活動法人さとやまから
事務局長 杉浦英二

